

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年1月26日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6954 URL <https://www.fanuc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・SR部長 (氏名) 行貞 直樹 (TEL) 0555 (84) 5555
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 540,250 | 44.0 | 139,946 | 114.4 | 161,534 | 114.2 | 118,772 | 114.6 |
| 2021年3月期第3四半期 | 375,229 | △ 2.9 | 65,263 | △ 4.9 | 75,397 | △ 5.4 | 55,344 | △ 2.1 |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 137,892百万円(93.9%) 2021年3月期第3四半期 71,131百万円(45.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 619.20 | — |
| 2021年3月期第3四半期 | 288.52 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-----------|-----------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 1,703,468 | 1,486,555 | 86.5 |
| 2021年3月期 | 1,625,191 | 1,435,554 | 87.7 |

(参考)自己資本 2022年3月期第3四半期 1,473,978百万円 2021年3月期 1,425,479百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 87.93 | — | 206.14 | 294.07 |
| 2022年3月期 | — | 246.02 | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|---------|------|---------|------|-----------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通期 | 726,200 | 31.7 | 186,500 | 65.8 | 214,700 | 66.8 | 159,300 | 69.4 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「3. 注記事項に関する情報 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期3Q | 201,909,397株 | 2021年3月期 | 201,922,097株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期3Q | 10,088,254株 | 2021年3月期 | 10,108,169株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年3月期3Q | 191,816,435株 | 2021年3月期3Q | 191,822,350株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知お願います。業績予想につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する説明」をご覧ください。なお、2022年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 3. 注記事項に関する情報 | 8 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 8 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 8 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日から12月31日まで）における当社グループを取り巻く状況につきましては、製造業全般において新型コロナウイルス感染症の影響等で減少していた設備投資が回復し活発に行われるようになりました。しかし、世界的なサプライチェーンにおける半導体等の部品の不足による生産活動への影響が長期化する等、先行き不透明な状況が続いております。

このようななか、当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先としつつ、お客様への商品の供給とサービス活動の継続に努めてきました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,402億50百万円（前年同期比44.0%増）、経常利益1,615億34百万円（前年同期比114.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,187億72百万円（前年同期比114.6%増）となりました。

部門別の事業の概況につきましては、次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界の需要は、堅調であった中国に加えて欧米でも増加する等、各主要市場で堅調に推移し、当社のCNCシステムの売上也増加しました。レーザについては、海外メーカーとの厳しい競争が継続しています。これらの結果、FA部門の売上高は1,638億54百万円（前年同期比56.0%増）となりました。

ロボット部門については、中国でIT関連、EV、重機、建機向けを中心に売上が堅調に推移しました。米国でも一般産業向けおよびEV関連の需要を取り込んだ自動車産業向けが堅調であった他、欧州でも一般産業向けが好調に推移し、売上が増加しました。また、国内でも、低調であった前年同期に比べ売上が増加しました。これらの結果、ロボット部門の売上高は1,980億70百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）は、中国でパソコン、タブレット市場向けの旺盛な需要を受け、売上が増加しました。ロボショット（電動射出成形機）は、IT関連、医療市場向けの需要が好調に推移し、売上が増加しました。ロボカット（ワイヤ放電加工機）も、IT関連、自動車部品市場向けの需要が好調に推移し、売上が増加しました。これらの結果、ロボマシン部門の売上高は1,092億29百万円（前年同期比54.0%増）となりました。

サービス部門については、売上が例年並みに回復しています。サービス部門の売上高は690億97百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産合計は、前年度末比782億77百万円増の1兆7,034億68百万円となりました。

負債合計は、前年度末比272億76百万円増の2,169億13百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比510億1百万円増の1兆4,865億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する説明

半導体等の部品の不足により先行き不透明な状況が続くものの、FA、ロボット、ロボマシンの各部門において、様々な分野で旺盛な需要が見込まれることから、2022年3月期通期の業績予想を以下のとおりとします。

通期

(金額：百万円)

| | 前回発表予想 (2021年10月27日発表) 【A】 | 今回発表予想 【B】 | 増減率 【(B-A) / A】 |
|---------------------|----------------------------------|---------------|--------------------|
| 売上高 | 708,900 | 726,200 | 2.4% |
| 営業利益 | 177,500 | 186,500 | 5.1% |
| 経常利益 | 203,400 | 214,700 | 5.6% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 150,800 | 159,300 | 5.6% |

注)2022年1月から2022年3月までの期間における為替レートは、平均105円/ドル、125円/ユーロを想定しています。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 429,784 | 439,886 |
| 受取手形及び売掛金 | 128,171 | 134,444 |
| 有価証券 | 157,000 | 157,300 |
| 商品及び製品 | 81,253 | 97,240 |
| 仕掛品 | 52,008 | 70,804 |
| 原材料及び貯蔵品 | 31,007 | 48,844 |
| その他 | 11,253 | 14,624 |
| 貸倒引当金 | △782 | △924 |
| 流動資産合計 | 889,694 | 962,218 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 309,113 | 314,990 |
| 土地 | 148,389 | 154,485 |
| その他（純額） | 119,344 | 95,391 |
| 有形固定資産合計 | 576,846 | 564,866 |
| 無形固定資産 | 9,952 | 8,760 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 109,212 | 126,661 |
| その他 | 39,911 | 41,386 |
| 貸倒引当金 | △424 | △423 |
| 投資その他の資産合計 | 148,699 | 167,624 |
| 固定資産合計 | 735,497 | 741,250 |
| 資産合計 | 1,625,191 | 1,703,468 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 44,015 | 60,590 |
| 未払法人税等 | 22,131 | 22,434 |
| アフターサービス引当金 | 8,860 | 9,399 |
| その他 | 60,112 | 69,177 |
| 流動負債合計 | 135,118 | 161,600 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 49,379 | 50,418 |
| その他 | 5,140 | 4,895 |
| 固定負債合計 | 54,519 | 55,313 |
| 負債合計 | 189,637 | 216,913 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 69,014 | 69,014 |
| 資本剰余金 | 95,995 | 96,215 |
| 利益剰余金 | 1,373,018 | 1,404,925 |
| 自己株式 | △106,008 | △105,914 |
| 株主資本合計 | 1,432,019 | 1,464,240 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16,910 | 16,125 |
| 為替換算調整勘定 | △4,849 | 10,459 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △18,601 | △16,846 |
| その他の包括利益累計額合計 | △6,540 | 9,738 |
| 非支配株主持分 | 10,075 | 12,577 |
| 純資産合計 | 1,435,554 | 1,486,555 |
| 負債純資産合計 | 1,625,191 | 1,703,468 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 375,229 | 540,250 |
| 売上原価 | 245,226 | 319,416 |
| 売上総利益 | 130,003 | 220,834 |
| 販売費及び一般管理費 | 64,740 | 80,888 |
| 営業利益 | 65,263 | 139,946 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,686 | 1,434 |
| 受取配当金 | 1,197 | 947 |
| 持分法による投資利益 | 7,723 | 16,313 |
| 雑収入 | 2,397 | 3,945 |
| 営業外収益合計 | 13,003 | 22,639 |
| 営業外費用 | | |
| 訴訟和解金 | — | 288 |
| 固定資産撤去費用 | 377 | 249 |
| 寄付金 | 399 | 205 |
| 雑支出 | 2,093 | 309 |
| 営業外費用合計 | 2,869 | 1,051 |
| 経常利益 | 75,397 | 161,534 |
| 特別損失 | | |
| 在外子会社における送金詐欺損失 | — | 537 |
| 特別損失合計 | — | 537 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 75,397 | 160,997 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 17,865 | 40,308 |
| 法人税等調整額 | 755 | △525 |
| 法人税等合計 | 18,620 | 39,783 |
| 四半期純利益 | 56,777 | 121,214 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,433 | 2,442 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 55,344 | 118,772 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 56,777 | 121,214 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,478 | △785 |
| 為替換算調整勘定 | 5,131 | 8,821 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,430 | 1,754 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △685 | 6,888 |
| その他の包括利益合計 | 14,354 | 16,678 |
| 四半期包括利益 | 71,131 | 137,892 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 69,215 | 135,050 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,916 | 2,842 |

3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。